

ものづくり開発・経営支援セミナー&相談会 参加申込書

市 課 宛 (申込日) 月 日

※下記の内容を記載のうえ、申込先にFAXにてお申し込みいただくか、参加申込フォームのQRコードからお申し込みください。

1 セミナー参加申込

※本情報は、セミナー当日の参加者間の交流を促進するため、一覧表にして配布します。
※申込書に記載された個人情報は、当該セミナー&相談会以外の目的で使用することはありません。

事業所名	
所在地	
役職	
参加者氏名	
TEL	
メールアドレス	
提供する製品、サービス等	

参加申込フォーム

以下のQRコードからアクセスしてください



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

2 研究機関等と相談したい (研究機関等との個別相談をご希望される方のみご記入ください。)

相談先の希望を選択してください。(希望先に <input checked="" type="checkbox"/>)	相談したい内容(技術的相談等)について記載してください。 ※出来るだけ具体的に記載してください。
<input type="checkbox"/> 富山大学 <input type="checkbox"/> 富山県立大学 <input type="checkbox"/> 富山高等専門学校 <input type="checkbox"/> 富山県新世紀産業機構 <input type="checkbox"/> 富山県産業技術研究開発センター	

3 申込・問い合わせ先

自治体	住所	TEL	FAX	E-mail
高岡市産業企画課	高岡市広小路7番50号	0766(20)1395	0766(20)1287	sangyo@city.takaoka.lg.jp
射水市商工企業立地課	射水市小島703番地	0766(51)6675	0766(51)6690	kigyoushi@city.imizu.lg.jp
氷見市商工振興課	氷見市鞍川1060番地	0766(74)8105	0766(74)8104	shokoshinko@city.himi.lg.jp
砺波市商工観光課	砺波市栄町7番3号	0763(33)1392	0763(33)6854	shoko@city.tonami.lg.jp
小矢部市商工立地振興課	小矢部市本町1番1号	0766(67)1760	0766(67)1567	syoko@city.oyabe.lg.jp
南砺市商工企業立地課	南砺市荒木1550番地	0763(23)2018	0763(52)6394	shokoka@city.nanto.lg.jp

ものづくり開発・経営支援 セミナー&相談会

参加無料
定員20名^{程度}

とやま呉西圏域(高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市)では、呉西圏域の事業者と研究機関等の連携を図り、事業者の新品・技術開発や経営改善に繋がるよう、セミナーと相談会を開催します。また、当日はセミナー会場となる富山大学軽金属材料共同研究棟が備える最新の試験研究設備を見学いただけます。

日時 令和5年 **12月1日(金)** 13:30~16:30

会場 **富山大学 高岡キャンパス 軽金属材料共同研究棟**
(高岡市二上町180番地)



第I部 | セミナー (13:30~15:15)

■ 施設概要及び事業概要等について
富山大学 先進アルミニウム国際研究センター センター長 柴柳 敏哉

■ 施設見学
富山大学軽金属材料共同研究棟の設備、施設を見学します。

第II部 | 相談会 (15:30~16:30)

■ 研究機関との相談会

- 富山大学
- 富山県立大学
- 富山高等専門学校
- 富山県新世紀産業機構
- 富山県産業技術研究開発センター

富山大学軽金属材料共同研究棟(セミナー会場)について

センターの概要

富山は現在、産学官市民が連携してアルミニウムの資源循環技術の開拓と社会実装に挑戦しており、使用済み製品の回収・解体・分解・分別・精錬・不純物制御・合金設計・組織制御・押出加工・表面処理そして接合までの要素過程全てが富山大学軽金属材料共同研究棟にて研究・検証されます。

また、本研究棟で、データサイエンスを駆使して造り込まれていく材料特性・エネルギー消費・環境負荷・経済効果を定量可視化して全体最適を策定します。



コラボスペース/コラボラウンジ

教員や学生、企業の研究者等が気軽に集い、情報交換やディスカッション等を行う交流の場を整備しております。オープンスペースとなるコラボスペースでは、講演会も実施が可能です。



オープンラボ

地域の企業や海外の研究機関に使用いただき、リサイクル等に関する共同研究を進めます。



軽金属材料共同研究棟に整備する主な研究設備

【熔解・精錬装置】

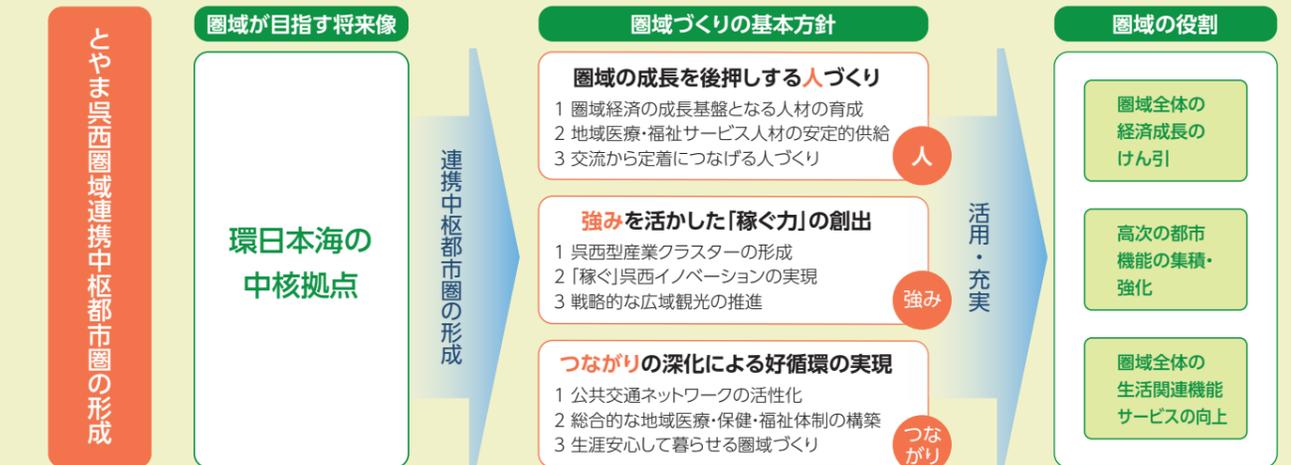
スクラップの熔解、精錬、鋳造、以上3つの工程を1台の装置で実現する熔解装置です。熔解炉本体、傾動式出湯炉、鋳造部の3部から構成され、最適な熔解・精錬条件の抽出と学術的な現象解明および不純物除去原理の技術実証を行います。

【複動押出機】

直接単動押出、間接単動押出、直接複動押出、間接複動押出の4つの押出工法を1台の装置で実現する加工機です。アルミリサイクル技術の開発において、最適な加工条件の抽出と学術的な現象解明に使用します。

とやま呉西圏域の取組について

本圏域が目指す将来像「環日本海の中核拠点」の実現に向けて、圏域の「人」、「強み」、「つながり」の活用・充実を大きな柱とした9つの基本方針に基づき、本圏域の連携中枢都市圏としての役割を果たすとともに、圏域各市の機能分担を図りながら、産業、観光、地域交通、医療・福祉等、各分野における連携施策に取り組みます。また、今般、世界的に感染を広げる新型コロナウイルスという大きな脅威に対して、圏域で連携しながら対応していくことも必要であり、感染を予防するための「新しい生活様式」を取り入れた暮らしのあり方や、テレワークやオンライン会議といった働き方改革など、社会の変化に適応した新たな視点で取組を進めていきます。



研究機関等の紹介

富山県立大学

本学には、地域連携センターがあり、3名の産学官連携コーディネーターがいます。専門分野ごとに、企業の製品開発に向けたコンサルティング、技術相談等のご要望に対し、先生方との間をコーディネートしています。2022年には新たにDX教育研究センターを設置し、DXを担う人材育成とDX分野の研究強化、オープンイノベーションを推進することとしています。



富山高等専門学校

社会が必要とする技術者を養成するため、中学校卒業生を受け入れ、本科5年間(商船学科は5年半)、専攻科2年間の一貫教育を行う高等教育機関です。機械・電気・物質化学・電子情報に加え、商船・国際ビジネスという幅広い学科構成により、実験・実習を重視した専門教育を行い、実践的エンジニア・海事技術者・ビジネスパーソンを育成すべく、専門的な知識や技術が身につけられるよう工夫していることを特徴としています。近年は研究活動の高度化を推進し、あわせて地域社会への貢献を積極的に推し進めています。



フォーラムを開催して、共同研究等の成果を発表写真は、「令和4年度とやまKOSEN コラボフォーラム」の様子

富山県新世紀産業機構

当機構では、県内中小企業者が直面する経営・製品開発・販路開拓などの経営課題に対して、ワン・ストップで相談をお受けし、地域の支援機関と連携しながら適切な支援策をご紹介します。



当機構では、セミナー開催に併せた個別相談会や出張相談会を開催しています。

富山県産業技術研究開発センター

富山県の活力のある産業づくりを推進する中核機関として、「高度で、特色があり、役に立つ」をモットーに、依頼試験や技術相談などの技術支援、基礎から実用化までの研究開発、技術情報の提供を通して、県内中小企業の研究開発や新製品開発、新産業の創出を積極的に支援します。



企画管理部・ものづくり研究開発センター



生活工学研究所



機械電子研究所